

事後評価報告書

総合理工学研究機構運営委員会 平成21年6月29日(月)

研究課題	地域農産素材等の機能性解明と高付加価値製品の開発	
研究期間	平成17年度～20年度	
	評価項目	平均点
	1 研究課題選定の妥当性	4.4
	2 目標の達成度	4.0
	3 研究成果の活用及び実用化の可能性	4.4
	4 今後の発展性	4.6
	5 総合評点	4.4
<p>山梨県の特産・伝統野菜、新規雑穀キノアおよび畜産物などを多品目にわたり取り上げて、抗酸化活性、AEC阻害活性、抗アレルギーをデータ化できたことは、本県特産物の付加価値を高める上で大いに評価できる。水かけ菜・モロヘイヤ・クレソンにおける抗酸化活性やAEC阻害活性は、商品化の有効な情報となる。また、農医連携の視点からも極めて評価の高い成果である。</p> <p>今後、研究成果の周知徹底とこれら機能性食品を販売するためのPRが必要である。また、機能性を増強する栽培方法のマニュアル化を農家への普及とともに全国的に出回っている野菜と本県の農畜産物との機能性特性の比較も今後の課題である。さらに、農業の6次産業化の視点から、機能性食品開発への道筋の提案も望まれる。</p>		